大総務第 126 号
令和７年３月５日

大阪市外郭団体評価委員会
委員長　堀野　桂子　様

大阪市長　横山　英幸
（担当：総務局行政部総務課法人グループ）

諮問書

大阪市外郭団体等への関与及び監理事項等に関する条例（平成 25 年大阪市条例第 10 号）第７条第１項に規定する外郭団体である公益財団法人大阪国際平和センターによる中期目標の期間を通じた経営評価（対象事業活動の実績）の結果及び同条第４項に規定する当該経営評価の審査の結果について、同項の規定に基づき、別紙により諮問します。

《様式1》

【対象事業活動の実績に関する評価】

令和6年度　事業経営評価

団体名	（公財）大阪国際平和センター	所管所属名	教育委員会事務局

中期目標

⑴ 当該外郭団体の事業経営を通じて達成しようとする本市の行政目的又は施策の具体的な内容

特定の歴史観や考え方に偏らず中立的（中立性の確保）に、事業を実施していくこととともに、「大阪中心」・「子ども目線」で「平和を自分自身の課題として考えられる」ような展示を行い、もって大阪市内に居住する小中学生をはじめとする多くの市民に戦争の悲惨さや平和の尊さを伝え、平和を願う豊かな心を育むこと。

⑵ 中期目標期間

令和２年４月１日から令和７年３月 31 日までの ５年間

⑶ 中期目標の期間終了時において、⑴の行政目的又は施策によって実現しようとしている状態

中期目標期間、大阪市内に居住する小中学生をはじめとする多くの市民に、「大阪中心」・「子ども目線」で「平和を自分自身の課題として考えられる」ような展示を通して、戦争の悲惨さや平和の尊さを伝え、平和を願う豊かな心を育む機会が提供されている状態

●最終年度【中期目標の期間を通じた評価】

中期目標の期間を通じた評価

外郭団体の自己評価

最終目標達成状況	中期計画に定めた指標及び目標に基づく評価を踏まえた団体の総合的な評価
ア ア：達成 イ：達成見込み（計画期間中） ウ：未達成	中期計画期間は、新型コロナウイルス感染症の流行状況により当館の運営が大きく影響を受け、令和５年度までは計画の改訂をせざるを得なかったが、このような状況下においても、各年度に定めた指標・目標をほぼクリアできたことは、職員一丸となって戦争の悲惨さや平和の尊さを次世代に伝えていくための取り組みを着実に進めた結果であると評価している。近年、平和を取り巻く世界情勢が変化してきており、人々の平和への意識が高まっている今日、当館の役割は益々重要になっていると認識しており、引き続き平和への情報発信に努めていく。

市の評価

中期計画に定めた指標及び目標に基づく評価並びに当該評価を踏まえた本市の総合的な評価

新型コロナウイルス感染症の流行という予期しがたい原因により、当初の中期計画の目標値を初年度から見直さざるを得ない状況となったものの、全ての指標の目標値を全ての年度においてほぼ達成することができており評価できる。

助言等及び講ずるよう求める措置の内容【大阪市外郭団体等への関与及び監理事項等に関する条例第７条第５項】（※必要な場合のみ）

●最終年度【中期目標の期間を通じた評価】

対象事業活動の実績に関する評価(事業活動に関する事項)

取組－１　（※分野ごとの評価）

中期計画

団体が**中期計画期間中**に行政目標達成に向けて取り組む具体的な内容

大阪市小学校校長会や中学校校長会等において平和学習の場としてピースおおさかの利用を呼びかけるとともに、来館率の低い区の小学校校長会などに働きかけを行っていくことにより、小中学校の来館率を高めていく。

中期計画達成状況

指標Ⅰ　大阪市立小学校全校に対する来館率

	R2	R3	R4	R5	R6【最終】
目標値	18%	31%	55%	77%	85%
実績値	28.5%	45.5%	68.3%	87.9%	86.5%

中期計画期間における具体的な取組内容（実績）

新型コロナの影響により大きく落ち込んだ計画初年度の来館率28.5%からスタートし、教育活動が徐々に正常化していくにつれ、毎年度来館率が上昇した。令和５年度にはコロナ前を超える87.9%となり、最終年度も86.5%となった。そのための取り組みとして、校長会等でのPRや将来の来館促進につながる教員研修の誘致などを行った。

指標Ⅱ　大阪市立中学校全校に対する来館率

	R2	R3	R4	R5	R6【最終】
目標値	4%	15%	22%	24%	25%
実績値	10.8%	20.8%	22.8%	24.4%	24.8%

中期計画期間における具体的な取組内容（実績）

新型コロナの影響により大きく落ち込んだ計画初年度の来館率10.8%からスタートし、教育活動が徐々に正常化していくにつれ、毎年度来館率が上昇し、最終年度の令和６年度は24.8%となった。そのための取り組みとして、校長会等でのPRや将来の来館促進につながる教員研修の誘致などを行った。

外郭団体の自己評価

中期計画の目標達成状況【中期計画期間】	ウ	ア：達成 イ：達成見込み（計画期間中） ウ：未達成

中期計画期間の達成状況について

新型コロナウイルス感染症の影響が甚大で教育活動が大きく制限された初年度以降、年々制限も緩和され、大阪市立小中学校の来館率は上昇傾向となった。小学校の来館率は、コロナ前の水準を大きく上回り、最終年度の目標を達成できた。中学校については、来館校数は最終年度まで増加したものの、来館率が最終目標にあと少し及ばなかった。ただ、当財団としては、コロナ禍において、その状況に応じた対応策をとり、小中学校に対する来館PRを行うとともに、学校ニーズを把握し、混雑防止や平和学習メニューの提供など効果的な平和学習がしやすい環境づくりに努めた結果、小中学校全体として高い来館率が確保できたものと認識している。

市の審査

中期計画の目標達成状況【中期計画期間】	ウ	ア：達成 イ：達成見込み(計画期間中) ウ：未達成	「様式１：中期目標(3)」に対する取組の有効性	A	A：有効だった B：有効ではなかった

「外郭団体の自己評価」に対する審査結果

新型コロナウイルス感染症の流行という予期しがたい原因により、当初の中期計画の目標値を初年度から見直さざるを得ない状況であったが、各年度の実績値は最終年度の中学校来館率を除き、達成している。一部未達成となったものの、中期目標に対する取組は有効であったと考えるので、自己評価は妥当と考える。

「**中期目標**」達成の視点からみた審査結果

小中学校の校長会などへのＰＲ、教員等の研修会など誘致の対策を行うことにより、各年度の小中学校の来館率の実績値はほぼ目標値を達成しており、中期目標で定める「小中学生をはじめとする多くの市民に戦争の悲惨さや平和の尊さを伝え、平和を願う豊かな心を育む機会」を提供することに貢献されていることは評価できる。

●最終年度【中期目標の期間を通じた評価】

対象事業活動の実績に関する評価(事業活動に関する事項)

取組－２　（※分野ごとの評価）

中期計画

団体が**中期計画期間中**に行政目標達成に向けて取り組む具体的な内容

来館した大阪市立の小学校に対してアンケート調査を実施し、「ピースおおさかが平和学習の場として役立ったのか」という問いに対して、４段階中最上位の「役立った」と回答した割合85%を計画期間中維持するように努める。

中期計画達成状況

指標Ⅰ　来館した大阪市立小学校の平和学習到達度

	R2	R3	R4	R5	R6【最終】
目標値	85%	85%	85%	85%	85%
実績値	88.9%	93.5%	92.9%	96.4%	95.2%

中期計画期間における具体的な取組内容（実績）

平和学習に必要なメニューが提供できるよう、当館ホームページのリニューアルや、新しい定時映画や戦争体験者の証言ＤＶＤの制作、平和学習デジタルコンテンツの制作などを行った。
また、新型コロナウイルス感染症の流行以降、来館した小学生がより学習に集中できるよう、状況に応じ適切な感染防止対策を取りながら、混雑防止のために予約段階から来館調整を行った。さらに、来館時の学習環境についての学校からの要望についても、雨天時等の昼食場所提供やトイレ改修などできる限り対応した。
これらの取組によりすべての年度で目標値をクリアすることができた。

外郭団体の自己評価

中期計画の目標達成状況【中期計画期間】	ア	ア：達成 イ：達成見込み（計画期間中） ウ：未達成

中期計画期間の達成状況について

コロナ禍においても適切な感染防止対策と必要な対応を行いながら、施設面での改善も図り、必要な平和学習メニューを提供したことなどにより、小中学校にとって学習効果・満足度を高めるための環境づくりができた結果、当初に設定した最低限クリアすべき平和学習到達度の85%は、すべての年度で達成することができ、高い評価をいただけたと認識している。

市の審査

中期計画の目標達成状況【中期計画期間】	ア	ア：達成 イ：達成見込み(計画期間中) ウ：未達成	「様式１：中期目標(3)」に対する取組の有効性	A	A：有効だった B：有効ではなかった

「外郭団体の自己評価」に対する審査結果

各年度の実績値は目標値を達成しており、自己評価は妥当である。

「**中期目標**」達成の視点からみた審査結果

戦争体験者の証言ＤＶＤや平和学習デジタルコンテンツの作成など、小中学校にとって学習効果・満足度を高めるための環境づくりに努めた結果、各年度の平和学習到達度の実績値については目標値の達成にとどまらず、年々高まっており、中期目標で定める小中学生をはじめとする多くの市民に戦争の悲惨さや平和の尊さを伝え、平和を願う豊かな心を育むことに貢献されていることは評価できる。次の計画期間でも継続して取組の推進に努められ、より一層高い目標を目指してほしい。

●最終年度【中期目標の期間を通じた評価】

対象事業活動の実績に関する評価(事業活動に関する事項)

取組－3　（※分野ごとの評価）

中期計画

団体が**中期計画期間中**に行政目標達成に向けて取り組む具体的な内容

ピースおおさかの企画事業の参加者に対しアンケート調査を実施し、「今回参加していかがでしたか」という問いに対し、５段階中上位２つの「とてもよかった」「よかった」と回答した割合75%を計画期間中維持するよう努めていく。

中期計画達成状況

指標Ⅰ　来館者満足度

	R2	R3	R4	R5	R6【最終】
目標値	75%	75%	75%	75%	75%
実績値	81.2%	92.7%	92.2%	90.2%	95.8%

中期計画期間における具体的な取組内容（実績）

次の世代に戦争の悲惨さと平和の大切さを継承していくため、終戦、開戦、大阪大空襲の日など節目の時期に戦争の悲惨さと平和の尊さについて考える機会として、平和コンサートや平和寄席など集客力のある平和祈念事業を実施し、来館者満足度の維持に努めた。

外郭団体の自己評価

中期計画の目標達成状況【中期計画期間】	ア	ア：達成 イ：達成見込み（計画期間中） ウ：未達成

中期計画期間の達成状況について

コロナ禍においては様々な制約があり、困難な状況にも直面したが、そのような状況下でも、時には特別展示とも関連づけるなどして創意工夫を図り、魅力ある平和祈念事業を実施した結果、すべての年度で来館者から目標値を上回る評価をいただけたことは、平和啓発への取り組みが評価された結果であると認識している。戦後79年が経過し、年々戦争体験者が減少していく中、また、世界的規模で戦争や紛争が起き、人々の平和に対する意識も高まっている今日、当館の存在意義は益々高まっており、今後も引き続き魅力ある事業を企画し、平和への情報発信に努めていく。

市の審査

中期計画の目標達成状況【中期計画期間】	ア	ア：達成 イ：達成見込み(計画期間中) ウ：未達成	「様式1：中期目標(3)」に対する取組の有効性	A	A：有効だった B：有効ではなかった

「外郭団体の自己評価」に対する審査結果

コロナ禍においても様々な制約がある中、さまざまな工夫を凝らし、すべての年度で来館者から目標値を上回る評価を得ており自己評価は妥当と考える。

「**中期目標**」達成の視点からみた審査結果

魅力ある特別展や企画事業の実施により、各年度の来館者満足度の実績値は目標値を達成していることから、中期目標で定める戦争の悲惨さや平和の尊さを伝え、平和を願う豊かな心を育むことに貢献されていることは評価できる。引き続き取組の推進に努められ、次期中期計画ではより高い目標を目指してほしい。